

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

<学校の教育目標>
文武両道の教育方針の下、豊かな人間性を培い、深い知性とたくましい心身を養うとともに、自主自立の精神を有する、地域のリーダーや国際社会で活躍する人材を育成する。
<4つの柱>
論理的思考(Logical thinking) 豊かな創造力(Creativity)
協働する力(Collaboration) 自主自立(Independence)
<令和6年度重点目標>
◆確かな学力の定着と進路指導の充実 ◆規律ある生活習慣の確立と人権尊重の精神の涵養
◆特別活動の充実とコミュニケーション能力の向上 ◆広報活動の推進と地域との連携
◆附属中併設型教育校としての高校教育改革 ◆授業改善

各学校で定める目標と育成する資質・能力

生活と地域の人々や事象の関わりに着目し、課題を設定し、その解決やそれに関連する探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組むことができるように、以下の資質・能力を育成する。
(1) 探究の過程(課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現)を理解して活動する。
(2) 課題の発見や解決に必要な知識及び技能を身に付け活用する。
(3) 主体的・協働的に取り組むことを通して、自分と社会のつながりを理解し、社会に対する参画意識を持つ。

総合的な探究の時間の学習評価

・生徒の成長を多面的にとらえる評価を行う。
(ポートフォリオの活用:ワークシート・計画書・作成した資料・発表資料・振り返りシートなどを蓄積し学習の過程を評価するように工夫する。)
・生徒の個人内評価、生徒同士による相互評価、教員による評価を行う。
・学習指導計画を立て、中間発表会や最終発表会を利用し、評価と改善を行う。

生徒の実態

○生徒の一部には、仮説を検証したり、大学等外部施設と自ら連絡をとったり、探究活動を進めている生徒も出てきた。
●基礎的学力や基本的生活習慣は身に付いている生徒は多い。しかし、主体的に課題を発見し解決する力は十分でない。
●調べ学習になってしまい、課題や仮説を立てるまで進めない生徒もいる。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

心の問題を抱える生徒に対しては、スクールカウンセラーや医療機関と連携し、速やかに対応する。

目指す生徒の姿

グローバル(グローバル+ローカル)な視野を持ち、他者と協働して課題を解決する姿。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

【課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力】

- (1) 「知識及び理解」
世界や地域社会の興味関心のある話題から課題を設定し、このことについて調べ情報を収集する。
(2) 「思考力・判断力・表現力」
・資料や情報を読み取り活用する力、仮説に基づいて検証する力、論理的思考力を身に付ける。
・得た情報を整理分析し、それを文章化言語化するなどしてまとめ表現する力
(3) 「学びに向かう力、人間性等」
・他者と協働する力を身に付け、自己の有り方生き方を考えながら、社会に貢献しようとする態度の育成。
・自分の意見を他者と共有し、課題の解決に向けて協働する力。

(1)~(3)の学びを振り返り、ブラッシュアップし続ける力。

上記の下線部ア~カは、本校が力を入れている探究のフレームワークである。

学習活動、指導方法等

【学習活動】

- ・1時間の学習の中には、個人学習からグループ学習などの協働的な学習活動への展開を含むものとする。
・前期探究活動は、1年次は「探究基礎講座」、2年次は「探究の振り返り」、3学年は「探究から進路を考える」をテーマに、各年次・学年ごとに実施する。教材は、スタディサプリ探究講座、ワークシート、関連図書などである。
・後期探究活動は学年横断型のゼミ形式で実施する。教材は、ワークシート、関連図書などである。
・ゼミ毎に個人、またはグループで研究を行い、課題発表会、中間発表会を行う。最終的には、ポスターを作成し、全体発表会を行う。

【指導方法】

- ・全教員をゼミに振り分け指導・助言にあたる。

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- ・組織マネジメント推進部(探究担当教員)…学習指導要領に沿って、探究活動の計画・運営・評価・改善を行う。
・探究担当者会議(探究担当教員)…指導方法や評価の観点、進捗状況などについて情報を共有する。
・総合的な探究の時間の研修会(全教員)…探究活動をさらに発展させていくために、教員の資質能力を高めるため研修会を企画する。
・総合的な探究の時間の研修視察(希望者)…探究活動をさらに発展させていくために、教員の資質能力を高めるため研修視察を企画する。